

中央公民館だより

そうぞうながと



発行 | 長門市中央公民館運営協議会 広報担当
TEL | 0837-23-1181 FAX | 0837-22-3648
E-mail | chuo.kominkan@city.nagato.lg.jp

中央公民館広報紙
No.199



笑って楽しく脳活性!



「おもちゃでフレイル予防」

第6回深川友愛学級「学ぼう会」

おもちゃを使ってフレイル予防 「まだまだ若いですよ!」

2月13日(火)、第6回深川友愛学級を開講しました。テーマは「おもちゃでフレイル予防」。前半は、地域包括支援センターの中田さん、福永さんによる「フレイルチェック」、後半は、長門おもちゃ美術館の岩本さんによるおもちゃを使った活動でした。どれも初めて見るおもちゃに自然と興味津々。ついつい遊びに没頭し、自然と笑顔や歓声がきかれました。それが何よりの脳活性につながりフレイル予防になるとのことでした。



フレイルチェックをしましょう!
ようやく完成!



ついつい夢中に!
シンプルで面白い!



青少年育成市民会議深川支部 絵手紙指導&クリアファイル贈呈

「こころを届ける絵手紙展」 絵手紙指導

2月17日(土)から公民館1階ロビーで開催している「こころを届ける絵手紙展」に向け、1月26日(金)に深川幼稚園で年長園児を対象に、中野喜久江さんによる絵手紙指導を行いました。



花や野菜、果物等から子どもたち自身が絵のモデルを選んで描きました。「誰にメッセージを送るか考えて書きましょう」という中野さんからの声かけに、真剣に考えて、平仮名表を見ながらメッセージを書く様子が見られました。お友達からメッセージを書いてもらい、喜んで照れる子もいました。展示は3月10日(日)まで行います。

小学校の仮入学で「家庭の日」クリアファイル贈呈

向陽小学校と深川小学校の仮入学の日に、新一年生へ、家族のふれあいを意識する「家庭の日」周知のためのクリアファイルを贈呈しました。また、「子ども110番の家」の紹介も行いました。



子どもクラブ・はじめての料理 鯨料理に挑戦!

1月27日(土)、「長門大津くじら食文化を継承する会」の協力で、「鯨カツカレー」を作りました。鯨を食べたことはあっても、調理するのは初めてという子どもがほとんど。鯨の赤身や皮に触れながら調理するうち、「皮つてカレーに入れなかつたらどんな味がするんだろう?」と茹でただけの皮を試しに食べてみる等、鯨食への興味がさらに湧いたようです。



わくわく土曜塾 ルネッサながとで狂言を体験

2月10日(土)、ルネッサながとで行われた「狂言教室」に土曜塾で参加しました。「万作の会」の狂言師による狂言「盆山」の解説と上演がありました。主人公の泥棒が木を切ったり、動物の真似をしたりする場面に、子どもたちから笑いが。狂言の台詞を言う体験では、大きな声で真似して言っている子もいました。



志を立ててもって万事の源となす 深川中学校 立志式

2月3日(土)、深川中学校で恒例の「立志式」が挙行されました。生徒たちは一人ずつステージに立つて、保護者や生徒に向けて自ら立てた志を宣言しました。新居校長先生からは、「小さなゴールに向けてやりとげる成功体験を積み重ねることの大切さ」などがメッセージとして贈られました。

先輩からのメッセージ

続いて、卒業生でもあるかなたでざいん代表の田中輝さんから「君たちはどう輝くか」の演題でメッセージが贈られました。「相手の期待を超えなさいいけない」「一瞬を逃さない準備」など自身の起業を機に生まれたプロとしての覚悟や長門の未来に寄せる思いなど、熱く語りかけていました。そして「みなさんが描く物語とどこかで交わえたら嬉しいです」と締めくくられました。



田中輝さん



学年合唱



未来に向けた決意表明

【地域協育ネット】活動の様子

2学期から3学期にかけて、深川小、向陽小で計28回、工作、茶道、着付け、裁縫、空手、箏、和太鼓、華道、福祉体験など、多岐に渡る体験活動や学習支援が地域の方々のお力を借りて実施できました。とくに和太鼓体験では、みずぎ音頭を育てる会「青波」から5名の方のご協力のもと1人1台の太鼓を準備いただきました。また、昔遊び体験では多くの地域の方々とともに楽しいひと時を過ごすことができました。



向陽小学校 日本文化クラブ 茶道・着付け・書道・華道体験
絵画・工作クラブ



一緒に活動しませんか

深川スポーツ振興会 役員募集

深川スポーツ振興会では、深川地区のスポーツ振興と親睦、健康増進を目的に、年間を通して様々な行事や大会を開催しています。

スポーツ好きな方、スポーツ観戦が好きな方、役員として一緒に行事・大会を運営してみませんか。

深川・向陽・大畑地区に居住で興味のある方(学生は除く)は、事務局(中央公民館)まで。

→スポーツ振興会の活動は毎月発行の令和5年度広報紙を「ご覧ください」



深川小学校

4年生 箏体験・点字学習
3年生 和太鼓体験、手芸クラブ



昨年夏に山口県立博物館で開催された『やまぐち大考古博』に、発見から約100年ぶりに、東京国立博物館より、里帰り品として展示されていた「壺鐙（つぼあぶみ）」と「馬鈴（ばれい）」は、実に精巧に作られた大変質の高いものであり、一考古ファンとして感動を覚えました。

この資料は、今の天津緑洋高校大津校舎付近にあった古墳時代後期（約一六〇〇年前）の榑塚（すくもづか）横穴墓群に副葬されていました。出土した副葬品の壺鐙や儀仗用太刀などは儀式の時に使われるもので、埋葬者は地方豪族として長門一帯の支配者にとどまらず、中央の大和政権とのつながりがあった人物だったと考えられます。消滅前の写真を見ると、十四基の横穴墓の入口が見られます。今日のような考古学ブームの時代に、正確な発掘調査がなされ遺跡の保存がされていれば、当時、この地域を治めていた支配者の解明につながっていたのではないかと考えられます。

三月八日より、長門市所蔵の壺鐙とレプリカを展示しますので、この機会に是非ご覧ください。

（古代担当 新江田）

これまでヒストリアながとからは、深川地区に関わりの深い歴史的・文化的な話題を毎月ご提供させていただいてきましたが、新年度からは年3回に変更いたします。



すくもづか
『消滅前の 榑塚横穴墓群』
大正十二年ごろ撮影
（写真出典 長門市の遺跡より）

【榑塚横穴墓群の出土物】
（東京国立博物館蔵）



『壺鐙』…一対



『馬鈴』
…全国で最大級

（写真出典 ColBase より）

わが家のオンラインワン
宝子編



吉原 しおり さん（2歳）

公園で遊ぶことと、歌うことが大好きな女の子です。これからも沢山遊んで元気に育ってほしいです♡

今月のうた

山茶花クラブ

輪島には帰る道なき雪女

吉村 佳子

冬枯れの一条谷や北の風

藤井 文則

大根引く穴に日暮の迫り来ぬ

山田 耕司

長門短歌会

大谷の感動的な活躍に

来シーズンもワクワクしたい

吉富 成子

ささくれができて気になる言い伝え

「忘れてないよ」と手を合わす我

原田 満江

玄関は閉まったままに日は暮れた

テレビは映す都会の賑わい

佐貫 勝代

深川地区の人口

世帯数	5,922	（ 0）
男 性	5,587	（-8）
女 性	6,449	（-5）
計	12,036	（-13）
（R6 年 2 月 1 日現在）		

中央公民館 3 月の行事予定



2(土)	子どもクラブ
2・9(土)	キッズエクササイズ(3B 体操)
9(土)	わくわく土曜塾(修了式)
13・27(水)	親子でJミックス
15(金)	公民館運営協議会理事会
26(火)	深川友愛学級(研修旅行)

編集後記

▼立志式で配付された生徒が書いた「立志に込めた思い」を読みながらとても感じいった。将来就きたい職業、なりたい自分、生き方などを表現した言葉の中に一本貫かれた芯なるものを感じたからだ。それは、人の喜び・幸福を願う生き方だ。これぞ「真の志」にほかならないと心強く思った。(孝)

